

GN 1041 CM/FM

JULY 2003

# 勝つための 戦い！

そして他の宝石

CM/FM 3457

マリア #649

4/03



敵の急所を撃て！

鍵の力によって戦い、

敵をやっつけるまで連打しなさい！

# 勝つための戦い！

そして他の宝石  
マリア

CM/FM 3457  
マリア #649  
4/03

## 戦うとは…そして勝つとは！

**敵**である悪魔は、必死に戦います！ そして汚い手口を使います！ 敵がこれほど容赦なく私たちに戦う理由はたくさんあります。まず、私たちはダビデの子供たちなので、私たちの誰一人でも軌道を外させたり、邪魔しようとして敵にできることは何でも、魂を勝ち取り、終わりの時のメッセージを出し、拡大化したファミリー教会を築くという主の仕事を邪魔し、遅らすことになるのです。敵はまた、戦いにあまり進歩がない状態のまま長く続くなら、私たちの戦いや、克服や進歩がないのを見ている人たちにネガティブな影響を与えることを知っています。ひっきりなしに攻撃を受けているという知らせを聞いていると、人々はうんざりし、それはある意味で敵に栄光を与え、信仰をむしばみます。

2. それに加え、プライドや強情、比べることといった、私たちの間違った態度によって敵に隙を与えてしまった時はいつも、敵に何度も何度も攻撃し続けるための戸口を与えることになります。

3. 主は、私たちにとてもたくさんの仕事をさせたがっておられます！ ファミリーの仕事と影響力は、社会の各層に手を伸ばしています。主は、ファミリーを使って、魂に手を差し伸べ、失われた人を勝ち取り、困っている人たちにカウンセラーや導き慰めをもって助けることで、この世に変化をもたらしたいのです。

4. 敵が、たとえ私たちの内一人でも、気をそらさせ、夫であり導き手である主ではなく敵に耳を傾けさせることに成功すると、時に、主が預言という主の声を通して私たちに伝えたがっておられるメッセージや、主が私たちに起こしてほしいと思っておられる行動に、大きな遅れが出ることがあります。そのような遅れは、必ずしも御国全体に重大な損害を生じさせるわけではありませんが、時にはそうなることもあります。

5. 主は繰り返し、この時期には霊の活動が活発になると言われました。終わりに近づくにつれ、それはただ増えるのみであることを、私たちも知っています。今は変化と動きの時であり、主は、私たち一人一人に、答え、導き、洞察、カウンセラーを与えなくてはなりません。これらは、各ホーム、仕事、ミニストリー、アウトリーチ、また個人の人生や霊的力を前進させる上で、鍵となる役割を果たします。夫である主と足並みをそろえ続け、主が意図される霊的さらには実際的な前進の最先端に留まるため、私たち一人一人が、最新の指示と戦闘計画を主から受け取る必要があります。

6. 要するに、ファミリー・メンバーが敵の攻撃に気をそらされ、ぐずぐずし、軌道を外してしまうなら、損害を受けることもあり得るということです。主のメッセージを受け損ねるか、メッセージを余すところなく受け取れなかったために、何かを理解できずにいたり、導きが十分得られなかったりします。また、いるべき時にいるべき場所にいなかったり、戦いの準備ができていないことで、幾つかの戦いに負けてしまったりすることがあります。だから、敵は、個人個人に不安や落胆、苦痛、損害を引き起こすだけでなく、御国を妨げるためにも、絶えず私たち全員に攻撃し続けるのです。

### 目次

戦うとは…そして勝つとは！	2
霊的な信頼度	6
穏やかな霊	7
瞑想と黙想の牧場	7
愛情深い夫である主のスイートさは、 他の人たちにも伝わる	9
あなたの努力の成果を高める！	10
清めを必要とすることを恥じてはならない！	11
与えるなら、わたしから受け取る…	12

7. あなたたち各自の主のための仕事はどれも大切です。必要が差し迫っていて、あなたの果たす役割が決定的なものとなる時もあります。そして、その時にあなたが主の意図にしっかりと従っていないなら、何か欠けていることになり、それではダメなのです。「まあいいや、明日できるさ」というものではありません。そこに穴が生じます。

8. その穴が小さくて、数時間や数日のうちに埋め合わせられることもあります。でも、主が計画し取りはからって下さったタイミングを逃して敵が主導権を得てしまうか、あなたが主から聞いて再び主のチャンネルに合わせるのが遅れたせいで、敵があなたの思いや態度の内に強力な足がかりを得たために、霊の内において仕事に明白な損失が起こることもあります。それは敵にとっての勝利です。敵はファミリーやファミリーの活動をすっかり終わりにさせることを望んではいませんが、必ずしもそれを期待しているわけではなく、大きな遅れを生じさせるだけで十分満足します。そうすれば、真理を受け取ることや、主への従順によって掲げることができたはずであるか、掲げるべきである防衛が遅れるので、敵は優位に立ち、主導権を得て、「余分の」前進をすることができるからです。だから、敵は私たちの気をそらそうとするのです。私たちを止めることができないなら、敵は私たちを遅らせようとします。

9. 主の仕事と御国を妨害すること以外にも、敵が攻撃し邪魔するおもしろい理由がもう一つあります。それは、他の人たちを落胆させたり、うみ疲れさせたりすることです。誰かが絶えず攻撃を受けていて、自分の戦いをひっきりなしに周囲の人たちに話しているなら、周りの人たちに絶望感や信仰の欠如を忍び込ませるといった影響を与え得ます。このような勝利なき長期戦によって、人は、主には敵の軍隊を叱責したり打ち破ったりする力や、少なくとも十分なだけ超越するだけの力を私たちに与えられる能力がないかのように思わせられることもあります。攻撃を受けている人を救出する気が主にないのが問題なのではありません。そうではなく、問題は、霊の内では何か欠けているので、その人が救出されないことにあります。その人が正しい選択をしていないか、主との関係が正しくないのか、あるいは勝利を得るために主

が何かを待たれているのか、そのあたりのことです。戦いが長引いている状況にいと気づいたなら、ただ平常通りに物事を続けていかずに、霊の中で何が起きているのかを主から聞いて知る時間を取ることが大切です。何が欠けているのでしょうか？ 勝利を得るには、何をすることが必要なのでしょうか？

10. 超越することは霊的な努力で、だいたいは私たちの思いの中で起きることであり、たいしては目に見えないものである一方、決して姿を見せないむなししい行いというわけではありません。本当に超越しているなら、その形跡が存在するはずで、良い実があるのです。その人がいやされるか救出されるか、あるいは少なくとも、病気や困難に直面していても明るくポジティブであるための力を受け取るかして、主のための仕事や奉仕において実り豊かで効率的であり続けます。たとえ戦いが続くとしても、堪え忍び続けるか、勝利をもって乗り越えるための力が与えられているはずで、

11. 主のための仕事ができなくなるほど、霊的戦いや攻撃で悩まされたり、妨害されたり、重荷を負ったりすることは、主の御心ではありません。そういうことが起きているなら、それは超越していることになりません。それは敵の攻撃に粉砕されているのであり、そうなる必要は全くないのです。

12. 主は、次のメッセージの中で解決策を下さっています。そのメッセージは、幾つかの面においてほぼ絶え間なく敵の攻撃を受けていたと思われる、ある女性に与えられたものです。彼女は様々な方法で敵の攻撃を受けました。色々な面で健康問題を抱え、仕事に集中し、生産的、効率的に働くのが難しく、何度も何度も孤独感や否定的な思いや感情に悩みました。彼女は勝利を望みました。進歩を遂げ、主のカウンセルに従おうとしていましたが、状況は変わりませんでした。彼女のために祈った時、彼女が望む勝利を得、より幸せになるにはどうしたらいいかについて、主は非常に貴重な洞察を与えて下さいました。私たちができる限り効率的で、充実し、勝利を得ている状態にさせまいとする敵のもう一つの罠を暴露する上で、皆さん一人一人にも役立つと思います。

13. (イエスが語っている：) わが子らが気づくべきなのは、敵と戦うことについて話し、敵の攻撃を認識し、自分は戦うつもりだと言うことは、実際に戦っているのとは違うということだ。防御から攻撃へと移る時というものがある。その時に至るまで、その人は本当は戦っていない。戦いについて話し、戦闘を分析し、戦うことについて考え、計画しているだけだ。戦うというのは、そういう防御的な考え方からの切り替えを意味するのであり、行動のことを指すのだ！

14. わたしが一例として使っているこの愛すべき女性は、戦争の法則を知っており、敵を識別することができ、戦闘の熱さと痛みを理解している。そして、傷の痛みを喜んで堪え忍ぼうとしていることをすでに証明した。だがそのすべてをもってしても、彼女が優れた戦士であることにはならない。効果的に戦っている人というのは、勝つために戦う人であり、敵である悪魔が負けることを見込んでいる。そしてその敗北が、状況の変化、改善、勝利となって現れることを見込んでいる。

15. 敵の攻撃に対する彼女の最大の弱点とは、その攻撃を受け入れていることだ。敵が攻撃してくると予期するという、敵の攻撃に対する馴れ合いだ。そしてついには、敵に包囲されることに慣れてしまい、それが普通であり、それは予想されることであって、人生とはこういうものなのだと感じるまでになった。戦うことは勝つことであるという事実を見失ってしまった。戦うとは戦闘を終結させることであり、救済であり救出を意味するのであって、必ずしも即座にそうなるとか、永続的にそうなるとは限らないが、進歩を遂げ、わが意思を果たすことに成功するだけ十分な期間戦いがやむことを意味する。

16. 彼女は気づいていないが、彼女はほとんどいつも防衛戦を戦っている。それではうまくいかない。防御から攻撃に移らなくてはならない！

17. 彼女の態度は好戦的でないので、敵の侵入を許した。そして、実際に熱心な期待感をもって勝利を待ち望むのに必要な信仰を失ってしまった。彼女の信仰が欠けている通りに、彼女の身になった。彼女は、「敵が攻撃してくる」

ことを予期し、受け入れるようになった。それが普通のことであり、自分が負うべき重荷の一部であり、避けられないことだと思っている。それゆえに、彼女は自分の予想している通りのものを受け取る。そしてそのように予想することが、わたしが彼女に与えたいと思う勝利のための信仰を奪っている。

18. だから彼女は、落胆、苦痛、長期に渡る戦い、邪魔、その他のいずれかにより、敵に地歩を譲っているのだ。潜在意識下で、彼女は、敵の攻撃を予期するだけでなく、その戦いが延々と長引くものと見込むので、次から次へと戦いがあるのだ。敵は彼女が自分の悪しきわざを育てる肥沃な土壌であることを知っている。彼女はもはや、敵は自分の人生に何の関係もないこと、また、彼女には敵の支配から逃れる権利があることに気づかないからだ。彼女は自分のネガティブさや、間違った思考過程がネガティブであるということに気づかない。それが信仰の欠如だとは思ってない。彼女はそれを、用心深さや、敵の攻撃を認知していることと見なしている。

19. 敵の力に栄光を与えるものは何でも、天の思考パワーとは正反対であり、あなたの人生に力ではなく、破壊をもたらす。天の思考パワーにあずかるには、それに比べれば敵の力がどれほど非力であるかに気づかなくてはならない。敵はあなたと鍵の力に服するものであると完全に確信していないといけない。敵の攻撃を受け入れるのを拒絶することによって、敵の攻撃に栄光を与えることを拒みなさい。敵を打ち負かすには、勝利は確実だと確信して攻撃的にならなくてはならない。すぐには完全な救出は見られないかもしれないし、倦怠感や病気や落胆や、他に何であれ、戦いの「症状」をまだ感じるかもしれない。だが、あなたは他に何もできないという状態にはならず、前進することができるだろう。

20. わが花嫁の一人が天の思考パワーを身につけ、新しい武器を使ってその力に集中する時、それにはしるしが伴う。何らかの進歩がある。それはいやしとか、今までよりもっと靈感されると感じるとか、従いたいという新たなる願いといった、肉体的または情緒的なものかもしれない

し、あるいはより明確な経路や、わたしが期待することや霊的な原理をよりよく理解すること、人生におけるわたしの存在をより強く意識すること、より大きな信仰、わが愛と導きに対するより大きな平安といった、霊的なものかもしれない。天の思考パワーを使い、その力に集中したとしても、必ずしも即座に、完全な救出が起こるわけではない。しかし、何らかの明確な前向きの進展がある。物事は、以前と変わる。もし変わらないなら、何か欠け、何か間違っている。何らかの良い実があるはずなのだ。

21. わが花嫁たちにこれが理解できるなら、彼らのホームや個人個人の生活、証し、供給、子供、ミニストリー、実り豊かさに大きな進歩が見られるだろう。彼らは、敵の力の多くから解放される。信仰と、従順と、攻勢に出るといふ単純な行動を通して、敵に勝る力をどれだけ有しているかを理解するようになるからだ！ あなたがたは、敵の攻撃を受け入れることと、それに対して攻撃的に戦うこととの違いを知らなくてはならない。

22. あなたがたは戦うことを学ばなくてはならない。戦いについて話したり、戦うと覚悟したりするのではなく、実際に攻勢に出て攻撃し、勝つことをである！ その、「勝つ」というのがキーワードだ。そこが欠けているからだ。わたしの花嫁には、攻撃を予期し、戦いを予想しているが、勝つことを期待していない者が多くいる。

23. あなたがたは、自分たちが勝者となるべきことを知るべきだ。それがあなたがたの宿命であり、あなたがたは勝者となるに値する。敵とリングに上るだけでは十分ではない。あなたは勝たなくてはならない。それがゴールだ。敵に立ち向かうことや、敵を認識すること、さらには喜んで戦おうとするだけでも十分ではない。自分が勝てると、そして実際に勝つと知っていなくてはならない！ その最後のステップがなければ、あなたは長期戦の泥沼にはまり、何ラウンドも戦う羽目になり、最後には打ち負かされてしまうだろう。

24. とても多くのことが、あなたがどれだけ警戒しているか、あなた個人がどれだけ変わろうと願い、熱烈にそれを求めているかにかかっている。とても多くのことが、あなたがどれだけ問題を理解し、わたしからの答えを完全に受け取っ

ているかどうかにかかっている。とても多くのことが、鍵を通してわたしにあなたの信仰を強めさせるかどうかにかかっている。(以上、イエスからのメッセージ)

25. (ママ：) 次は、自分が実際、攻撃的に戦いを戦っているかどうかをどうやって知るかについて、夫である主が下さったさらなる指示です。

26. (イエスが語っている：) 戦いについて語るだけでなく、また戦う準備をするだけではなく、実際に自分が戦っているかどうかを確かめる方法は幾つかある。ここにあるのは、自分が攻勢に出て、敵に対する攻撃的な戦争を行っているかどうかを知る方法だ。

27. ●信仰がある。つまり少しの疑いもなく、わたしと御国の鍵を通して、勝つための力を有していると知っていることだ。ここでのキーワードは、「勝つ」である。

28. ●話す時、わが力、約束、わたしにある勝利の希望を語ることで、わたしに栄光を与えている。実際的に言うと、敵の攻撃についてくどくどと話したり、説明したりするよりも、建設的に信仰を築くような、勝利の肯定的見解を述べることにもっと時間を費やしている。わたしがあなたに霊界をかいま見させたことによって、あなたが敵の小悪魔を名指して攻撃し、具体的な敵の策略を叱責しているとしても、それはすべて、悪に打ち勝つことによるより大きな勝利が目的ゆえである。

29. ●具体的な鍵の約束を要求し、「鍵の力を呼び求める！」と、口に出して言っている。

30. ●前進と行動によって、信仰を行動に移している。ほとんどの場合、これはただ自分の仕事やミニストリーに精を出しているということだ。いったんそれに取りかかれば、わたしがあなたを助けて超越させ、すべきことをできるようにするという信仰がある。

31. ●ままとあなたを止めることができたとか、さらには、当面最優先されるべき仕事を邪魔できたという満足感を悪魔に与えるのはいやだ。

32. ●祈りを求めるが、同時に、たとえ信仰によるとしても、勝利を証言している。忘れてはいけない。賛美は信仰の声である。わたしはあなたの賛美の内に宿り、賛美を通してあなたのために戦う。

33. ●あなたの語ることは、わたしを中心としている。わが約束と力、希望、(たとえわずかでも)改善、あなたや他の人たちを幸福感で満たす良きことを話している。あなたが語ることは、敵の攻撃や、敵がどうであるか、どれだけ悪いかを中心にはなっていない。

34. ●悪魔の攻撃を認識し、いつ敵が戦っているかがわかる一方、勝利へと前進するためにするようにとわたしが示したことを即座に行っている。わたしは多くの場合、祈り、建設的な話し方、仕事といった、具体的な行動にあなたを導くだろう。

35. ●天の思考パワーを取り入れ、敵の攻撃のことばかり考えないことによって、力に集中している。敵の力のことばかり考えるのは、天の思考パワーではない。それどころか、敵の力を恐れたり、敵の攻撃を心配したりすることは、天の思考パワーの代わりに敵にその場を譲ってしまう。

36. ●自分が2つの力の内のどちらか、つまり敵の力か、わが天の思考パワーのどちらかに従属していることを自覚している。そして、わたしの方を選ぶ。

37. ●わたしが十字架で払った犠牲により、敵はすでに敗北していることを、あなたは知っている。自分が勝利を得ること、勝つことを知っている。

38. ●良いこと、改善、それに伴うしるしを期待している。(以上、イエスからのメッセージ)

### 霊的な信頼度

39. (ママ:) WSのあるメンバーが、主との個人的な時間に、次のような小さな宝石を受け取りました。主から求められたことに対して忠実であることがどれだけ大切であるかを思い起こさせてくれます。私たちは、どれだけ多くのことがそれにかかっているか、それがどれだけ私たちの将来を左右するかを知るよしありません。

40. (イエスが語っている:) わたしと過ごしたこの時は、将来あなたを通して行いたいと願っている奇跡のためには欠かせないものなの

だ。あなたには、わたしとの非常に近いつながりが、どんな小さなささやき声も聞く鋭くとぎすまされた経路がなくてはならない。わたしはあなたのアップグレードを微調整しており、あなたの装備機材がすべて正常であるかどうかをテストしている。わたしはあなたを使わなければならない、それは、わが計画でも大きな部分を占めている。だがわたしは、あなたの装備に信頼性があり、頼りになるものであり、大切なテストの最中にわたしの役に立たないということが絶対にないようにしなくてはならない。

41. だから、わたしとのこのような時間を取るのがとても大切なのだ。このような時間は、あなたを調整し、訓練し、試験して、あなたが信頼に足ること、そして、あなたがそれを大切であるとか、重要であるとか考えるかどうかに関わらず、あなたは必ずわたしの所に来て、わたしから聞き、最後まで従うことを示しているのだ。あなたが信頼に足るかどうかによって、わたしがどれだけあなたを使えるかが決まる。

42. あなたがかなり信頼に足るならば、わたしはあなたをどこにでも連れて行けるし、どんな任務にも使えるだろう。多少信頼できるというのなら、殆どの場合あなたを使うことができる。しかし、少し当てにならず、その仕事が成されるべき時に、その仕事を正しくしてくれると当てにすることができないなら、あなたのことをそうしょっちゅう頼みにはできず、その装備がうまく働かなくてもそれほどダメージがないような、低リスクの仕事でしかあなたを使えない。ハイ・リスクの状況や重要な任務は論外となる。あなたを頼りにできるかどうかよくわからないからだ。

43. 今あなたに教えているのが、それ、つまり、霊の内の信頼性なのだ。あなたはそれを、わたしとの時間を忠実に取り、それからわたしたちと一緒に過ごした時に示したことをあなたがしっかりとやり遂げることによって学ぶ。わたしは、あなたが霊の内で責任を負うことと信頼できるようになることを教えている。それによって、あなたを当てにでき、わたしから求められたことを必ずするので、あなたに求めるどんな任務にも適任であると確信できるようになるためだ。これが霊の信頼度である。(以上、イエスからのメッセージ)

## 穏やかな霊

44. (イエスが語っている：) 穏やかにして信頼しているならば力を得る。霊の内でのわたしを待ち望むなら、あなたをわが力で満たすことができる。わたしを待ち望むとはどういう意味か？ それは、あなた自身の意思をわたしにあずけて、わたしの意志を受け入れるということだ。時には、いや多くの場合、わが意思を全部一度に受け取ることはない。それは一步ごとのプロセスなのだ。あなたは自分の意思をわたしにあずけるが、それがその日の予定であれ、ある物事に関する願いであれ、ある主題についての意見であれ、何であろうと、それを最初に委ねた後でも、それでもわが意思についてだんだん学んでいくというのは、一步ごとのプロセスであって、それにはますます自分自身の意志をわたしにあずけることが求められる。

45. そして、そういったプロセスが進むにつれ、あなたは一段階ごとにわが強さと恵みに満たされていく。あなたが激しい痛みや戦いを感じ始めたり、続けて行くための力が十分ないと気づくのは、あなたがわが意志に逆らったり、どうしても自分の意志を幾らか取っておくと言いつける時だけだ。委ね、受け入れている限り、あなたは完全なる恵み、平安、強さ、そして必要なものすべてを受け取るだろう。決して不足する事はない。これは、わが強さの内に行動するという、単純明快な原理だ。だが、これを正しく行うには、何がわが意志であるかを知るよう、わたしの指示に耳を傾けて、一步ごとにわたしを認めなければならない。

46. これは三段階のプロセスだ。第一に、謙虚になって自分の意思をわたしにあずける。第二に、何がわたしの意思であるかを尋ねる。第三に、わたしの意思を行うための力を求め、もう一度、受け入れ、委ねるというステップを踏む。この三つをするなら、わが霊があなたに流れ込み、あなたを支え、後押しし、恵みと知恵と理解と純粋な答えを与え、あなたはわが完全な意思の内にあるという心の平安を与える。これは素晴らしい状態だ。わたしとの平安、わが霊との平安の状態である。(以上、イエスからのメッセージ)

## 瞑想と黙想の牧場

47. (ママ：) 次は、「黙想のまき場」で主の御腕の中で休むことについて、主が語られたとてもスイートなメッセージです。主はこれを、ひどい頭痛に悩まされていたけれども、それにもかかわらず仕事を一所懸命進めようとしていた人に与えられました。たぶん私たちも皆、愛する夫である主からのこの忠告を必要としているのではないのでしょうか。

48. 私たちは、決して尽きることのない仕事によって、いともたやすく負担に感じてしまうものですが、やまいがある時には、多くの場合主は、私たちが主にあって休み、霊の内に強められることを望んでおられます。もちろん例外もあり、どうしてもやめられない時もありますし、そういう時は、主はあふれるほどに恵みを注いで下さいます。

49. でも、私たちが手を休め、必要なら他の人たちに助けを求めて主との時間が取れるようにすることを主が意図しておられる場合には、休んで再び満たされるために御腕に来るようにという主の促しを心に留めずに自分の力で無理に頑張ろうとするなら、主は余分の力と恵みで私たちを祝福することができません。

50. (イエスが語っている：) 来なさい、わたしの愛する人よ。尊い人よ、来なさい。わたしの手を取りなさい。あなたを愛してあげよう。休息を与え、慰めてあげよう。あなたの仕事から、そして周りを見回し、決して尽きない仕事を見る時に重くのしかかる重荷、そのすべてから、あなたを連れ去ってあげよう。あなたは御国の仕事と職務は急を要し、重要である事を知っているので、苦勞し、無理し、山ほどの仕事をやろうと努力する。しかし尊い人よ、言っておくが、もう十分だ。来て、わたしの手を取りなさい。静かな場所に連れて行ってあげよう。あなたはそこで疲れ果てた魂に休息と慰めと平安を見いだすだろう。

51. あなたは果てしなく、計り知れず注ぎ出したのに、それでも言う。「まだ足りない！ もっともっと注ぎ出さなくては。人々は飢え渴いでいるのだから」と。あなたは人々の叫びを聞き、深くあわれみ、自分を犠牲にしてまで与えた。だが今、わたしはあなたを休息と息抜きと再生の旅

に連れて行く。

52. 愛する人よ、連れて行ってあげよう。わたしがあなたをさっと腕に抱くと、あなたは力を感じる。あなたは自分がしっかりとつかんで離さず、手に掲げているもの、そしてあなたが感じるすべての負担を手放すことができる。ただ、わたしの腕で休み、リラックスして、それを手放せばいい。あなたは、わたしが状況を支配しており、すべてを見事に行い、すべてが働いて益となるようにするという安心感を得るだろう。あなたは再び、子供たちを守るのはあなたではないこと、羊を養い、必要な勝利を勝ち取るのはあなたではなく、わたしであることを思い出す。そして、それを思い起こさせてもらうことによって、あなたは息抜き、休息、心の平安を得る。

53. あなたを抱え起こす時、わたしはあなたの仕事や、四方からあなたをせき立てるすべてのものからあなたを連れ去る。わたしはあなたを憩いの場所、美しい牧場に連れて行き、柔らかな草の上でわたしの腕を枕にして横たわらせよう。あなたはほおに暖かな日の光を感じる。髪をなびかせる穏やかな風を感じる。リラ、ジャスミン、バラ、スイートピー、その他あなたが以前かいたこともない多くの天国の草花のかおりがする！そこであなたは休む。

54. あなたの周りはずべてが静かである。鳥の声、木を揺する風の音、小川のせせらぎ、あなたの耳に語るわが愛の言葉のスイートな声しか聞こえない。あなたはすべてがうまく行っており、わたしが物事を完全に支配していると知っている。あなたがわたしにあって安み、わたしに重荷を委ねると、わたしがそれを担ぐということを、あなたは知っている。すべての思いわずらいをわたしに委ねると、わたしはそれを担う。あなたを思うからである。愛しているよ。

55. わたしはあなたの一番奥底に隠れた必要を知っている。誰にも知られたくない秘密を知っている。あなたのすべての思いと願いを知っている。あなたの一番の願いがわたしを喜ばすことであることも知っている。だが、わたしは、あなたが戦場から離れ、注ぎ出すことを一時休止し、あなたに重くのかかる仕事の手を休める時間を取らなくてはならないことも知っている。

56. あなたはわが黙想の牧場で休息する時

間を取らなくてはならない。そこであなたはわが甘美さの芳香をかぎ、わが愛のぬくもりと、わが保護の力を感じることができる。あなたにはわが王国の音が聞こえる。早すぎず遅すぎず、しかも一糸乱れない秩序と完全なる穏やかさと休息でもって、ゆったりと優雅に、リズムカルに物事が進む音が聞こえる。

57. わが腕で休息し、息抜きをする時、わたしはあなたに触れ、そっと優しくなでる。あなたの目にキスし、ほほに触れ、あなたの柔らかな唇にキスをする。わたしの手はあなたの体中をくまなく優しく触れ、その柔らかなタッチで、すべての緊張、心配、ストレス、プレッシャーが流れ出て、あなたは完全なるくつろぎを得る。わたしを信頼することができるからだ。あなたはわが存在と力と強さを感じ取っている。

58. あなたの心配事、考え、計画、予定をすべてわたしに委ねるなら、わたしはそれをうまくまとめて、このすべてから、わたしの計画、わたしの見解、順番、優先順序を引き出すことができる。このように休息し、瞑想し、静かに祈り、完全にくつろいでいる時に、わたしを求め、鍵を呼ばれるなら、わたしはあなたの優先順序をはっきりさせ、あなたが心配しなくていいことと、関心を払う必要があることをより明確に区別できるようにしてあげよう。

59. ああ、いとしい人よ、休みなさい。すべての重荷、心配、あなたの力を奪い、あなたを邪魔し、精魂尽き果てさせるしつこい疑問や心配をすべて手放しなさい。そのすべてを手放し、わが腕で完全に休息しなさい。あなたの顔に降りかかる陽光と、わたしがあなたの思いと目と心と霊と全身とにまんべんなく注いで、休息と力と再生をもたらししている天の霊薬に集中しなさい。わが天の力を深く吸い込みなさい。それによってあなたは休息と平安と穏やかさを見いだす。

60. あなたは力を得、質問への答えを見出す。そして重荷を捨て去る。一心にわたしの目をのぞき込んで、わたしがこう言うのを聞くからである。「いとしい人よ、休みなさい。あなたは自分でできることをした。あとはわたしがしよう。尊い人よ、今は休みなさい。仕事の手を休め、熱烈な愛の営みを休み、それほど多く注いだり与えたりすることを休みなさい。休みを取りなさい。

わたしの腕の中に横たわり、あなたを覆うわたしの力とぬくもりを感じなさい。わたしの肩に頭をもたれさせ、わたしの愛撫とタッチと優しいキスを受けなさい。あなたが目を覚まし、夢が邪魔されないよう、優しくキスして眠りにつかせよう。」

61. あなたは何も心配なくていい。あわてる必要もない。アラームをセットする必要もないし、わたしの腕の中で休んでいる間に過ぎる時間を気にする必要もない。この休息によって、あなたは切実に必要としている力と平安と再生を得るからだ。いとしい人よ、この時間は有効に使われている。1時間であろうと2時間であろうとあるいは10時間であろうと、わが腕で有効に過ごした時間である。

62. あなたがわが手で十二分に休息を取り、新たにされた後、わたしは朝の目覚めのキスでそっとあなたを起こす。陽光のキス、美しさのキス、回復のキス、塗油と力のキス、わが存在のキスだ。これらのキスは、あなたが戦いに戻り、再び大量に注ぎ出す時、あなたと共に行く。あなたはそのキスの内に、神の御国の豊かな宝への鍵を見出すだろう。

63. だから愛する人、尊い花嫁、恋人よ、恐れてはいけない。わたしと共にこっそりと、瞑想と黙想の牧場に逃れることを恐れなくていい。あなたはそこでわが腕にあって休みを得、心配や重荷やプレッシャーから解放され、わたしの温もりと力と優しいキスを感じることができる。わたしはあなたに子守歌を歌い、甘美な眠りへとそっといざおう。そこであなたは、全宇宙の完全な調和を感じつつ、深い休息と平安を見いだすだろう。あなたはわが力を感じ取る。わたしがコントロールしていることを知るだろう。そしてあなたは、わたしがあなたを愛し、あなたを世話し、わたしはわが子を世話すると知るので、すべての重荷をわたしに委ねられるようになる。

64. だから、尊い恋人、情熱的な花嫁よ、休みを取りなさい。働きの手を休め、愛することを休みなさい。与えることと注ぎ出すことを休みなさい。いとしい人よ、休みなさい。わが腕で休み、心地良い眠りにつきなさい。あなたが休んでいる間、わたしが忠実な見張り役となり、すべてを世話すると知りなさい。(以上、イエスからのメッセージ)

## 愛情深い夫である主のスイートさは、

### 他の人たちにも伝わる

65. (ママ:) 共同生活を営むことはテストです。ややもすると小さなことでついイライラしてしまうもので、そうなる生活はとても不愉快なものになり得ます。こんなにも互いどうし近く暮らしていると、思うようにならない「ちょっとした事」が常にあるものです。次にあるのは、フィールドのあるホームのシェパードが受け取った素晴らしいメッセージです。そのホームで、そのホーム・メンバーの何人かが経験していた幾つかの「摩擦」や難しい問題を解決するのに何が助けになるかについて祈っている時に受け取ったものです。これにはどんなホームにも、あるいは人生により多くの幸福と喜びと愛を望んでいるどんな人にも役立つ良い助言があります。

66. (イエスが語っている:) 何よりも一番に大切な鍵は、ホームの各メンバーがわたしをもっと愛し、わたしをもっと親密な時間を過ごすことである。そのようにわたしと共にいる時間に、わたしは祝福を注ぎ出し、霊を引き上げる愛と慰めと励ましの言葉を語るからだ。それらは一日を通してバラのようにわが霊の甘い香りをふりまき、まわりの人はその人がわたしと共にいたことを知るだろう。

67. これが第一歩であるべきだ。というのも、わが花嫁の一人一人が愛のベッドでわたしに身を任せ、わたしに愛させ、人生を変える種で満たさせない限り、どんなプログラムも、プッシュも、説教も、全く効果がないからだ。まず個人個人の側でこのように委ねなくてはならず、それからわたしが残りをするのである。すると、物事はすんなりと流れていく。

68. ホームにおいてわたしを愛する雰囲気をもっと強めるためにあなたにできることは色々ある。そのリストをあげよう。

- ▶ わたしを親密に愛し、わたしとの関係を持つことの利点について、わが言葉を一緒に読む。
- ▶ 歌と賛美の言葉でわたしを共に愛するインスピレーションの時間をスケジュールに組む。

- ▶ わたしと もっと親密になるには何ができるかについてわたしから聞くよう、全員に求める。
- ▶ その質問について、全員がわたしの答えを受け取ったなら、集まってそれを皆の前で読んで分け合う時間をスケジュールに組む。
- ▶ 色々な人と一緒にわたしを愛する時間を取る。祈りのビジルと一緒にしてもよいし、わが言葉を一緒に読むか、一緒に散歩に行くだけでもいいだろう。一緒に住み共に働いている人と共にそれをするにはどうすれば一番良いかをわたしに尋ねる。そうすればわたしは具体的な指示を与える。
- ▶ ホームで定期的に、ただ一緒に楽しんだり、お互いをもっとよく知ることができるようなアクティビティをする。(アイデアについては「イエスと一緒に楽しもう」ML#3437, GN1020を参照。)
- ▶ ホームのインスピレーション・レベルをもっと高くするには何ができるかを、ホーム全体でわたしに聞く。わたしはあなたがたに語り、超越するのを互いに助け合えるたくさんの方のアイデアや方法を示すだろう。

69. 実行するのが難しいものも幾つかあるだろうが、その方向に歩いていくなら、わたしはあなたがた全員の心の中で働き、彼らの外側の殻が落ちるようにする。そして、ホーム内にもっと愛情深い交わりをもたらすだろう。あなたがたがホームのこの面をもっと明るくするなら、闇と肉のやり方は姿を消し、わが子らの心の中でわが霊がもっと統べ治めるようになる。(以上、イエスからのメッセージ)

### **あなたの努力の成果を高める！**

70. (ママ:) 次は、ある女性がゲットアウトの時にいつもするよう努めていた新しい運動法について主から裏付けを聞いた時にもらったメッセージです。主はその運動に関する質問に答えられただけでなく、非常に大切なレッスンを簡潔に述べられました。これは、主に何か聞かたびに、ほとんどいつも、私たちに強く印象づけようとされることです。

71. (イエスが語っている:) 愛する人よ、ただ人の知恵や意見に頼るのではなく、わたしの所に来てわたしに忠告を求めてくれてありがとう。あなたが正しいカウンセルを得ているとしても、それがすべてではない。完全なる祝福を受け、正しい結果を得るには、わたしの下に来て、裏付けを得、さらに追加の洞察や約束を受ける必要がある。これはとても大切だ。なぜなら、正しいカウンセルを受け、人のカウンセルに従うことで基本的には正しい方向に進んでいるとしても、わたしを認めず、あなたの計画に対するわたしの約束と承認を受けるのでなければ、わたしは完全なる祝福を与えられないし、あなたがどのような新しいチェンジを生活に取り入れるのであれ、何に従おうとするのであれ、そこからの利益をあますところなく与えることができない。

72. たとえば、新しいエクササイズ・プログラムを始めるとして、それがあなたの体のタイプに向いており、一日の正しい時間に正しい長さだけ、適量のウエートを手や脚につけると決めたとする。しかし、わたしの承認と裏付けと助けを求めないのであれば、その利益を十二分に受けることはできない。

73. だが、わたしの下に来るなら、わたしはあなたの努力成果を一層効果的にできる。わたしは人間の能力範囲を超えてそれを祝福することができ、そうすれば、あなたはそこからの恩恵を素早く十分に受けるだろう。それが自分にとって正しいと思えるからという理由だけでそれをするなら、たとえそれが正しいことでも、立ち止まってわたしのカウンセルを求めていれば得られたはずのものを少し失うことになる。なぜなら、あなたはむしろ人の領域で、人の限界の中で行動しているからだ。しかし、わが承認と裏付け、さらなる見識、あなたの計画への「微調整」を受け取るなら、あなたは本当に成功する！

74. たとえわたしがあなたの計画や、予定や、食餌法や、その他何であれ生活上の新しい試みに大きな変更を加えるよう導かないとしても、それについてわたしに尋ねるなら、あなたはそれでも益を受けるだろう。わたしがあなたの努力成果を祝福し、それをもっと効率のさせたり、もっと速く効果を生じさせたり、さらにはもっと簡単に、素早く、持続的に結果が得られるようにする

からだ。

75. この原則は生活のすべてのことに当てはめられる。個人的目標にも、対人関係、霊的ゴールや進歩、あなたの仕事やミニストリーにも当てはめられる。わたしに尋ね、わがカウンセルを求めめることは、どんな時も割に合う。自分が正しい方角に進んでいるとかなり確信がある時でさえもだ。霊の内には、あなたには見えず、いつもはつきりと気づいているとは限らない利点というものがあるからだ。だがその利点なしには、物事の進展や改善はもっとゆっくりであることを確実に気づくだろう。(以上、イエスからのメッセージ)

### **清めを必要とすることを恥じてはならない！**

76. (ママ:) 敵は私たち一人一人の主への奉仕を止めようと躍起です。敵がこの頃使う戦術の一つは、元メンバーの友人や知り合いが彼らの持つ疑いや苦い根を吐露する時、それを使ってあなたの信仰を失わせたり信じていることを疑わせたり、リーダーシップや御言葉に対する疑いを抱かせたりしようとする事です。それは紛れもなく敵である悪魔の攻撃です。同時に敵は、あなたが耳にしたことから影響を受けたことで、罪悪感を抱かせるよう試みるでしょう。敵はあなたを非難して、あなたが弱いからとか罪深いからとか、何かの面であなたのせいであると告げるのです。

77. もちろん、あなたが主に従わなかったとか、必要もないのに故意に否定的なインプットを取り入れたなら、それは主のゆるしを求めめる必要があることです。そして強められるための道に戻るのには容易でないかもしれません。でも、どんな場合であっても、主はあなたを愛しており、あなたを清め、強めたいのです。ですからあなたが心を打ち明け、祈りを求め、必要な主との余分な時間を取るのを敵が邪魔しようとする時、それに耳を傾けてはいけません。

78. 敵の嘘を聞きながら、それを押さえようとしたり、まるで存在しないかのように無視しようとしても、あなたは必ず弱められるでしょうし、それについてあなたを助けられる人はいません。でもあなたが敵に立ち向かい、祈りを求め、シェパードたちに心を分け合い、必要な御言葉の時間を取るなら、主はあなたを清め、強めて下さるでしょう。そうすればあなたは以前にも増して

強くなります。敵の罠にはまってはいけません！

79. 次のメッセージはそのような状況に陥ってしまった人のために受け取られたものです。そういう人たちは、疑いを抱く家族や知り合いの所に行って彼らの言い分をすべて聞いた後、清められる必要がありました。でも敵は、彼らがそれにとがめを感じ、恥ずかしく思うようにさせていたのです。同じような状況にいると気づいた人たちにとって、これが励ましとなるよう祈ります。誰でも皆、いずれはこのような状況にいるようになることでしょう。

80. たとえ最も強い人であっても、敵の攻撃から完全に免れられる人は誰一人いません！けれども、真の強さを測るテストとは、敵の攻撃が自分より強くとも、それは素晴らしい夫である主よりも、またあなたたちの仕事仲間や愛する人たちの支えや祈りよりも弱いことを認識して、喜んで身を低くし、助けを求めるかどうかなのです。

81. (イエスが語っている:) 自分の感情、心で荒れ狂う激情、感情、恐れ、悩みについて思わずらってはいけません。あなたの状況にあっては、それは当然の副産物である。泥だらけの土地を行けば、戻ってくる時に多少汚れても当然である。それを恥じることはない。それは弱さのしるしではない。それが人生というものだ。それを知った上で、今、わたしとの時間を余分に取ったほうがいいだろう。わたしの純粋な清めの言葉で洗い清まり、再び満たされ、強められる時間がたくさん必要だ。そうすれば再び調子が出て、絶好調になるだろう。

82. 人々は、敵の嘘や誘惑が何であれ、それに汚されてしまうのは間違ったことと思うが、それは大きな誤解だ。罪の意識を抱き、自分が弱いことや、疑い、心配、恐れ、その他何であれ、それが自分のせいであるかのように感じる。そして、それを恥に思うので、そういった疑いや弱点を隠そうとする。そして隠すので、自分自身に対してすら、そんなものは存在しないようなふりをする。そして、それが存在しないかのようなふりをするので、処置し、対処し、根こそぎにし、わたしの言葉と預言の清い声のたわしで洗浄するための適切な時間を取らない。それで、そういった小さなことが処置されていないので、それはもっ

とひどく膿み、炎症を起こし、汚染する。それが皮膚についた泥の固まりに過ぎなかった時に取り除いておけばそうならなかったはずなのに。

83. だから、悪魔はよくこの手を使うのだと知って、わたしの霊であなたを洗い清めさせなさい。あなた自身の霊を戦いから休ませ、わたしに世話させなさい。わたしを愛する時間を取りなさい。わたしがどれだけあなたを愛しているか示してあげよう。これから訪れる甘美な栄光と、わたしがあなたのためにしたいこと、あなたを通してしたいことを、耳元でささやこう。この先とてもたくさんのことが、あなたの突飛な夢をもはるかに超えたことが起こる！ だから、わたしの手を取り、わたしにそこまで導かせなさい。わたしと一緒に手を取り合ってください。愛している。わたしは決してあなたを見捨てない。あなたは永遠にわたしのものだ。(以上、イエスからのメッセージ)

84. (イエスが語っている：) 愛する人たち、清められるためにあなたにできること、そしてすべきことでもう一つ非常に大切なことを思い出してほしい。それは、シェパードたちに祈りを求め、そのカウンセルにオープンになるということだ。霊的に泥で汚れると、視野がそれほどはっきりしないことがよくある。だから、わたしから語ってもらうだけでなく、強く、真実であることをあなたに思い起こさせることができる人とそれを話すのは本当に助けになるし、正しいものの見方を取り戻す助けとなる。

85. だから、プライドが強すぎてわたしがあなたがたに与えたこのサポート・システムを利用できないほどになってはいけません。わたしにあって強い人たちに祈りを求めなさい。いつも友達の所ばかりに戻ってはいけません。わが言葉にあって強く、あなたが強められるのを助けることもできる人たちの所に行きなさい。自分が汚れてしまったことを見せるのを恐れてはいけません。彼らはあなたが洗われ、清められるのを助けることができるのだから。わが言葉からどんなもの

を読むといいかについて、幾つか考えがあるかもしれない。それか、少なくともあなたと一緒に、そしてあなたのために祈れる。そのような霊的な補強は、あなたの清めと強めの過程を早め、簡単にするだろう。(以上、イエスからのメッセージ)

### 与えるなら、わたしから受け取る・・・

86. (ママ：) 私たちが主に与えるなら、その代わりに主は私たちにたくさん与えて下さいます。

87. (イエスが語っている：) あなたがわが宮で時間を取るなら、わたしはあなたの霊を新たにします。あなたがわたしにキスするなら、わたしはあなたの口を良きもので満たす。あなたが幼子のようにわが腕に横たわるなら、わたしはあなたを慰め、あなたのラブ・カップを再び満たす。わたしの声を聞く時間を取るなら、あなたを回復させ、物がはっきりと見えるようにしてあげよう。

88. わが言葉の内での時間を費やすなら、わたしはあなたを戦いのために強くする。他の人を愛する時間を取るなら、わたしはあなたに注ぎ入れ、あなたの幸福と満足を新たにします。謙遜なことをするようにとのわたしのチェックに従うなら、わたしはあなたを平安と豊かな満足感で満たす。飢えた者たちにわが言葉を出すよう働いたら、わたしはあなたに報い、あなたの必要をすべて与える。他の人のために祈るなら、わたしは彼らに、そしてあなたに祝福を降らせる。あなたがわたしを賛美するなら、もっとわたしのような物の見方ができるように助けよう。

89. わかるかな？ あなたがわたしに与えると、わたしはそれ以上に報いるのだ。お金では買えないもの、働いても得られないもの、努力では得られないものを。それはわが愛と霊のプレゼントであり、それは与えることからしか、つまり、あなた自身をわたしに与えること、わが霊に従うこと、わたしが求めたことをすることからしか得られない。(以上、イエスからのメッセージ)